

## 新型コロナ(COVID-19)

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

また、感染拡大の防止にご尽力されている医療関係者をはじめとした多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

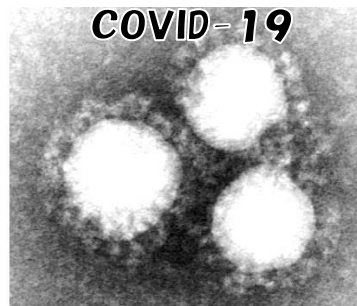
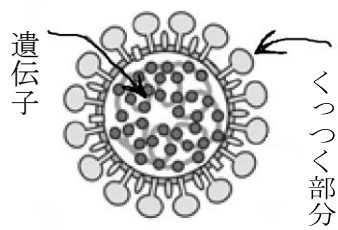
### 第1波収束！！

県は4月5日と、「県民のみなさまへのお願い」や「県民行動指針」、「福井県緊急事態宣言」など、状況が変化する都度、「感染防止に関する呼びかけ」を行ってきました。

4月25日には、外出自粛や休業の要請といった「福井県緊急事態措置」も発令されましたが、産・官・学・民「県民の皆様のご努力」の結果、4月29日以降、発症者の発表はありません。(6月9日時点)

現在では、「県民行動指針」も様々な自粛要請を緩和した「No.5」となっており、「福井県内では感染第1波が収束した」と言えそうです。(19日以降の ver.6 に期待🌻)

「福井県は新型コロナがバツと広がったけど、グッと収まった！」わけで、まずもって県民の皆様・関係者の方々に心より敬意を表します



### 症状例

先日、新型コロナに感染された方に直接お話を伺いました。個人差がありますが、その方は、「3週間の入院でしたが、ピークの2～3日間はとても苦しかったです。症状は、発熱・頭痛・関節痛に加え、息のし辛さ。味覚もおかしくなりました。薄味のものがかどく(濃く)感じたり、その逆だったり。匂いも感じなかったです。」という症状だったそうです。

肺炎まで行くと、息苦しいですね。また味覚障害は、私の想像以上に極端な感じがしました。

その方はすでに完治され、「抗体(抵抗力)のある人」です。たいへんだったわけですが、今は遅く感じました！(^\_^)v

暑くなり陽が長くなりました。気付けば間もなく夏至(21日)。今年の春は、新型コロナ自粛などで仕事や生活・社会全般、臨機応変な悩ましい対応が続き、これまでに経験のない状況になりました。この間に起きたことをすべて学びと捉え、今後の教訓にせねばと思うところですよ」

## 細川かをり県政報告

第52号

### 県民行動指針 ver.5

1. 感染防止対策を徹底する
2. 首都圏など他県との往来を自粛する(6月18日(木)まで)
3. 感染リスクが高まる密閉・密集・密接の場を「つぐらない」「近づかない」
4. 医療機関を受診する前に電話で相談する
5. 職場における感染防止対策を徹底する
6. 店舗等における感染防止対策を徹底する
7. 県内医療を守るために最大限協力する
8. 人権・個人情報保護を徹底する

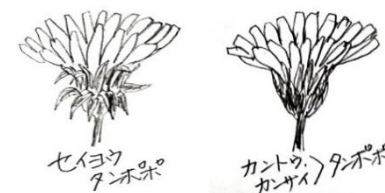
県のホームページには、「新しい行動指針 Ver5」の詳細や、分野別情報が掲載されています。

教育庁からは、学校向けに「抵抗力を高めるために、『十分な睡眠・適度な運動・バランスの取れた食事』を」と呼びかけられています。これは県民の皆様全員にとって大事…ですね！！(^\_-)☆

「私の周りでも3人骨折！」  
「選手コースの子でも、休んでいた間に体力が落ちてきている。」  
とおっしゃいます。若いスポーツ選手でさえ自粛でそうなるのですから、年配の方ならばなおの事です。  
体力は、徐々に戻すしかありません。ジムやスポーツクラブも再開し始めています。私は、朝のウォーキングと、草刈り・草むしり。  
『間隔開ければ、外でマスクを外してよ』  
なので、朝の気持ちいい空気を吸い込んでいます！( ^ )v

◆ 5月に、私の親戚や知人4名が、転んで骨折しました。私より20年配の方々です。腕の骨折、ひじの骨折、股関節、尾てい骨…前歯を何本も折ったという方もおられます。  
新型コロナ予防のための自粛が続いたから、足腰が弱られたのでしょうか？他の人からか？  
「私の周りでも3人骨折！」  
などと聞かれます。皆様、足元には十分お気を付けてください。

- ◆ 厚労省から日赤本社を通じて、「新型コロナ感染症を踏まえた市民による救急蘇生法」についての指針の通知がありました。
  - ① 心肺蘇生はエアロゾル(ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気)を発生させる可能性があるため、新型コロナウィルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応する。
  - ② 成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫と AED による電気ショックを実施する。
  - ③ 子どもの心停止に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施する。
- しかも、「エアロゾルの飛散を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルなどで傷病者の鼻と口にそれをかぶせるように変更する。」そうです。



## 県政報告

- ★ ラジオ「丹南FM79.1」  
「県議会 夢 通信」  
6月27日(土) 午後4時～  
(再) 28日(日) 午前10時～

細川かをり県政報告 R.2.6  
発行：福井県議会議員 細川かをり  
事務所：越前市村国1丁目2-11  
TEL・FAX 42-5888

◆ 畦の草刈りや野良の散歩をしていて気になるのは、植物相です。  
今年は何の当たり年ですが、いつもなら筍を食べて荒らす猪が、豚コレラで減り、筍がたくさん出回りました。また、採り残しのために、竹が増え、竹林が広がってきています。  
南アフリカ原産で、砂防用に植えられ、野生化したというシナダレスズメガヤ。これは、しなつてなかなか草刈り機で刈れません。繁殖力が強く、在来種を追い立てます。  
うちの集落にもセイヨウタンポポが一気に増えました。元からいる日本タンポポ(カントウタンポポ)、頑張つて！

## 専門外来

4/6

**細** 保健所は非常に消耗。立ち行かなくなる懸念もある。どこか一定の場所で道具をそろえ、発熱患者対応を専門的に行ってはどうか。地域のお医者さんが輪番でその診断にあたっては！？

(↑ 実際に診療されたお医者様の声・ゾーニング提言です。)

**県** 4/14(火)に県医師会の協力を得て、帰国者・接触者外来を開設。担当医は、医師会から派遣。感染者を担当してきた医療機関の負担軽減を図りたい。

PCR検査は、ドライブスルー方式による検査機関を設け、検査できる人員を増強し、「希望者が少しでも早く検査が受けられるような体制づくり」に努める。

**結** 早期の体制づくりを確立し、第2波の感染に備えたいです。

## 高齢者

4/3

**細** 赤ちゃんや高齢者をかかえる女性の「怖い」という声や、自粛で「体がだるい」という声があがる。

特に、高齢者が不活発になっている。自粛中、健康で過ごせるような対策を。

**県** 県ホームページで高齢者向けに自宅で健康に過ごすための留意事項や県作成の「ふく福ハッピー体操」動画でお知らせしている

**結** ホームページを見ていただける？パソコンの小さな画面はとても疲れますが…(-\_-;)

## 自粛

4/3

**細** 越前市では罹患者や濃厚接触者が多数出ている。夜の飲食店で広がっているだけではなく、昼間の会合などで接触するケースも。(← 当時の私周辺の様子・感染状況の変化を報告)

**知事メッセージで、昼夜に関わらない会合等の自粛を求めてほしい。**

**県** 4/14に県独自の緊急事態を宣言し、「県民行動指針 Ver2」において平日昼間を含めた終日、不要不急の外出や会合・会食の自粛を要請。

**結** 「バツ」と広まったけれど「グツ」と収まりとあえず、胸をなでおろしています。

議員側は、「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見や要望等」がある場合、4月・5月の間、議会事務局にFAXで届けました。事務局はそれらを取りまとめ、県の担当に伝えます。内容によっては返事も頂きました。

県議の意見要望は全部で約150件。担当課は忙しい最中ですから、「頑張っている仕事の支障にならない様に」と必要項目に絞りつつ、私も12件31項目、意見を伝えました。他の議員と重なる場合もあれば、すでに県が対応済みのモノもありましたが、一部をご報告します。

杉本知事は、福井県の副知事をされた後、総務省に戻って「総務省消防庁 国民保護・防災部長」となりました。国の危機対応の要におられたわけです。今回の一連の対応は、素早いマスク券の手配はじめ、次々と多角度での対応策を打ち出されました。今後のウィルス禍後の問題についても、期待しているところです。



## 詐欺防止

4/30

**細** 一律10万円の給付金、そこに付け込む詐欺が横行する可能性も高い。注意喚起と寄付等をつのる団体に、明朗会計の呼びかけはできないか？私はかつて寄付・募金で嫌な思いをした経験がある。

流用されない、中抜きされない、詐欺でない…見分けは難しい。

**県** 詐欺被害防止の広報を推進し、問題が起きないように努めたい。

**結** 後日「心をひとつに ふくい応援」基金創設された。充実した内容となることを期待したいです。

## 外国人

4/13

**細** 外国人に対する情報伝達、問い合わせへの回答、不安解消策を。

チェックリストの外国語版はあるのか？

**県** 現在、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語で注意喚起を行っている。チェックリストの外国語版は、早急に対応したい。

**結** どう浸透させていくのか見ていきます。



## 休業と協力金

4/13

**細** 深刻なのは店舗経営者。自粛要請という事実上の営業停止を強制させられているのに、家賃や固定費はどんどん出て行く。申請して受給まで2ヵ月かかる雇用調整助成金も、一旦事業者側が給料を払わなくてはならないが、売上が無いのに払えるわけがない。今後も客が見込めない以上、店仕舞いするしかない。早急な現金給付を。

(細) 県は「国に追認」するだけではなく、「独自補完」が大事だとお伝えしました。

**県** 県では、新型コロナウイルス感染症により売上等が減少した中小企業者に対して、経営安定資金の融資枠の拡大や新たな特別資金を創設するなど、円滑な資金繰りを支援している。今後さらに、県の要請の基づき休業した事業所には、休業の状況に応じた定額協力金を支給する。

**結** 支援が全事業主に行き渡るよう、手続きの簡素化を求めます。

## スマホ決済

5/13

**細** リモートワークや押印見直しなど「接触を避ける行動様式」が求められている。スーパーのレジの方がお金からの接触防止のために、薄手のゴム手袋をされていたりしている状況の中、何故税金を「ペイペイ」で支払えないのかと苦情がある。

**県** 現在、自動車税はクレジットカード納税を導入、例年約7千件の利用がある。

ご指摘のスマートフォン決済についても導入すべく、システム改修等の費用が最小限に抑えられる方法を検討中。

**結** 早期の実現に向け、今後も要望したい。

## 臨床検査技師

5/12

**細** PCR検査を増やすには、臨床検査技師の数や体制を強固にする必要がある。

臨床検査技師の資格があり、結婚出産などで辞めてご家庭に入ったままの方をリストアップして、必要な際に協力を求めるシステムを作っては？(← 市内お医者様からの提言です。)

**県** 臨床検査技師のほか、検査の経験がある獣医師を衛生環境研究センターに応援職員として配置し、1日198件検査できる体制にした。

また、病院関係者を通じて募集を行い、6月から臨床検査技師1名を会計年度任用職員として採用予定。

**結** システム化に向けてどう考えていくか。

※特別定額給付金(一人十万円)ですが、私は「地域で役立つ」方針！この基金は、さらなる感染症対策の充実に使われるので「方針にピッタリ、これに寄付を！」と思ったのですが、公職選挙法の「選挙区内の寄付行為禁止」に係るのでできません。残念！(汗)

県内他地区の福祉に活かします。